

教授

布花原 明子

■ 学歴

1. 2001 年 兵庫県立看護大学大学院看護学研究科地域看護学専攻 修了

■ 学位

1. 修士（看護学）

■ 研究分野

1. 公衆衛生看護学
- 2.
- 3.

■ 研究キーワード

1. 健康危機管理
2. 地域組織活動（地域開発）
3. 母子保健活動

■ 研究課題

1. 公衆衛生看護学に関して、感染症の健康危機管理において、特に行政管理職である保健師に求められる役割・機能を考察する。
2. 公衆衛生看護学に関して、母子（親子）保健におけるポピュレーションアプローチを中心に考察する。また、ハイリスクアプローチとの関連についても考察する。

■ 担当授業科目

1. 公衆衛生学（後期） 必修
2. 公衆衛生看護技術論（後期） 2 年生保健師課程必修・看護師課程選択
3. 対象別公衆衛生看護活動論（後期） 2 年生保健師課程必修・看護師課程選択
4. 公衆衛生看護活動演習（前期） 保健師課程必修
5. 看護総合演習・実習（通年） 必修
6. 公衆衛生看護学実習（前期） 保健師課程必修
- 7.
- 8.
- 9.
- 10.

■ 授業を行う上で工夫した事項

※ 助教・助手については、実習・演習等の指導を行う上で工夫した事項

1.	授業科目名【公衆衛生学】 講義ノートを作成し、学生が予習・復習時に活用できるよう工夫した。また、授業の最後に知識確認の小テストを実施し、知識の定着につとめた。授業の学びと質問については、クラス全体にフィードバックできるよう、毎回、授業日のうちにクラスルームを用いて回答やコメントを配信した。
2.	授業科目名【公衆衛生看護技術論】 公衆衛生看護の対人支援に関する知識、理論、技術について講義を中心に授業を実施した。毎回、講義のキーワードを提示し、基本的な知識、理論を講義した後に事例を提示し、学生が知識や理論を事例に活用して考える機会をつくり、理解を深められるように工夫した。教材動画コンテンツを活用し、講義、視聴、ワークを組み合わせ進めた。
3.	授業科目名【対象別公衆衛生看護活動論】 公衆衛生看護の対象となるライフステージ及び健康課題別の活動について授業を実施した。公衆衛生看護活動においては、法的根拠に基づき活動を展開するため、法制度に関する自己学修を事前課題として提示した。授業では事前課題の知識と連動させて進めた。
4.	授業科目名【看護総合演習・実習】 実習では、実習企業の現場で生じている事象に関して、関連する保健統計データの分析を行い、課題解決に向けて実践する。学生が、主体的に PDCA サイクルを展開できるよう、実習指導者と事前打ち合わせを十分に行い、授業では学生が事前の文献検索、文献整理と、実習後のレポート作成をスムーズに進めることができるよう心がけた。
5.	授業科目名【公衆衛生看護活動演習・実習】 実習施設の地域診断と家庭訪問、健康教育技術の演習科目である。集中講義で進行し、多重課題となるため、学生がグループで協力し合えるよう促した。また、授業以外の時間にも技術練習時間にサポートを行い、学生が自信をつけて実習に迎えるよう配慮した。

■ 学会における活動

	加入時期	所属学会等の名称	役職名等（任期）
1.	1995 年 4 月～現在に至る	日本公衆衛生学会	
2.	2001 年 3 月～現在に至る	日本看護科学学会	
3.	2001 年 10 月～現在に至る	日本地域看護学学会	
4.	2002 年 3 月～現在に至る	日本看護学教育学会	
5.	2014 年 4 月～現在に至る	日本公衆衛生看護学会	

■ 研究業績等に関する事項（2023 年度）

	発行又は 発表の年月	著書、学術論 文等の名称	単著・ 共著の別	発行所、発表雑 誌等又は発表学 会等の名称	概 要
（著書）					
1.					
2.					
3.					

(学術論文)					
1.					
2.					
3.					
(翻訳)					
1.					
2.					
3.					
(学会発表)					
1.	2024.10	COVID-19 流行下における政令市管理職保健師の迅速な対応と判断 (第1報)	共	第 83 回日本公衆衛生学会総会 (於 札幌コンベンションセンター)	① 政令市 A 市において、COVID-19 流行下の健康危機管理業務に携わった管理的立場の保健師を対象に半構成インタビュー調査を実施し、保健師に迅速さが求められた事象と、その対応及び判断の内容を質的に分析した。第 1 報では、管理的立場の保健師に迅速さが求められた事象とその対応の特徴をまとめた。 ② 布花原明子、鹿毛美香、伊藤直子 ③ 第 83 回日本公衆衛生学会総会抄録集 (p 535)
2.	2024.10	COVID-19 流行下における政令市管理職保健師の迅速な対応と判断 (第2報)	共	第 83 回日本公衆衛生学会総会 (於 札幌コンベンションセンター)	① 政令市 A 市において、COVID-19 流行下の健康危機管理業務に携わった管理的立場の保健師を対象に半構成インタビュー調査を実施し、保健師に迅速さが求められた事象と、その対応及び判断の内容を質的に分析した。第 2 報では、管理的立場の保健師が行った迅速な対応における判断の特徴をまとめた。 ② 鹿毛美香、布花原明子、伊藤直子 ③ 第 83 回日本公衆衛生学会総会抄録集 (p 536)

■ 外部資金（科学研究費補助金等）導入状況（本学共同研究費を含む）

(1) 共同研究				
	研究題目	交付団体	研究者 ○代表者（ ）内は学外者	交付決定額 (単位：円)

1.				
2.				
3.				

(2) 個人研究				
	研究題目	交付団体	交付決定額 (単位：円)	備考
1.				
2.				
3.				

■ 社会における活動

	任 期 期 間 等	団体・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2010 年 4 月～現在に至る	北九州市保健所運営協議会	委員
2.	2017 年 4 月～現在に至る	北九州市介護保険認定審査会	審査委員
3.	2020 年 4 月～現在に至る	北九州市社会福祉法人審査会	審査委員
4.	2023 年 4 月～現在に至る	認定看護管理者教育課程	講師

■ 学内における活動等（役職、委員、学生支援など）

	任 期 期 間 等	会議・委員会等の名称 (内 容)	役 職 名 等
1.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	学生募集委員及び看護学科学生 募集担当	責任者
2.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	1 年生アドバイザー	責任者
3.	2024 年 4 月～2025 年 3 月	宗教委員	